

科目名	図書館特論Ⅱ（女性情報論）
科目分類	社会情報学部-司書課程
担当教員名	橋本 ヒロ子
ローマ字	Hashimoto Hiroko

1. ねらい

童話、辞書、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど世の中の情報が、いかに固定的な視点で作られているかをジェンダーの視点で分析し、その要因を探る。さらに、女性が置かれている状況、女性の実態を明らかにする情報、資料を演習などで学ぶ。これらを通して、どのような生き方が、女性にとってもっとも有利なさまざまな統計資料や情報をもとに検討する。

2. 内容

1. 女性情報とは何か
- 2-8. ジェンダー分析の実習
 - ①童話、おとぎ話（眠り姫とシンデレラ王子の物語、ぺたぺた姫などの比較）若い女性がかかりやすいシンデレラ症候群とは、どのようなことかを学ぶ。
 - ②日本語辞書、ことわざ、金言（女性を男性より劣った存在であるという考え方に基づいた用語・格言の多さに気づく）
 - ③新聞記事（女性を固定的な性別役割で見た記事の多さ、女性を性の対象としている記事・写真や広告の多いスポーツ紙、その要因として女性記者の少なさなど）
 - ④新聞の写真分析の実習
 - ④テレビ番組・CM（女性レポーターはなぜ少ないか、女性に力を与えるCM、テレビ番組とは）
 - ⑤女性雑誌（記事の半分以上が広告か広告記事であり、女性学生たちが買っている『Nonno』と就活や就職後に役立つ『日経ウーマン』の比較分析）
 - ⑥インターネット情報（女性というキーワードで検索すると大量にアダルト情報が検索される。女性の就職活動や子育てに役に立つサイトは？）
9. ミニコミ誌/紙とマスコミ誌/紙を比較分析
10. 女性の地位向上のためになぜミニコミ誌が必要なのか。女性ミニコミ誌編集者をゲスト講師として招聘し、お話を伺い、議論する。
11. 統計に見る日本女性の状況：家事・育児・介護の経済的評価
12. 女性の働き方：働きつづけた女性と専業主婦では生涯収入はどれだけ違うか？
13. 女性の多様な生き方をあらかず統計はなぜ少ないか。統計の行間を読む。
14. 女性情報はどのようにして収集するか、シソーラスの使い方、女性情報の所在場所
15. 試験

3. 評価

持ち込みなしの筆記試験(60%)、ワークシート・レポート(25%)、授業への貢献(15%)

4. 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【推薦書】『情報との出合い』縫田嘩子 ドメス出版 1999 289.1/N
 『男性誌探訪』斉藤美奈子 朝日新聞社 2003 051.5/S
 『男女共同参画統計データブック：日本の女性と男性』国立女性教育会館編 ぎょうせい 2009
 『メディアリテラシーとジェンダー』諸橋泰樹 現代書館 2009
 『「ことば」に見る女性』東京女性財団 クレヨンハウス 1998 367.21/T
 『女性のデータブック 第4版』有斐閣2005 367.21/J